

# 第17回香川県教育研究集会開催

## せんせいCafé初開催。大学生も参加!

**香川教育**

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
kakyoso@kakyoso.com  
香川県教職員組合  
定価 1部50円 1月100円  
組合員の購読料は組合費に含む

### 妹尾昌俊さん(教育研究家)記念講演

### ～子どもたちも教職員もウェルビーイングな学校づくり～

お読みいただきありがとうございます

第17回香川県教育研究集会(主催・香川大学教育学部教員組合、共催・香川県高等学校教職員組合、香川県私立学校教職員組合連合、香川県教職員組合)が、10月5日(土)に香川大学教育学部キャンパス内で開催されました。



記念講演の様子

今回の教育研究集会では妹尾昌俊さんが「子どもたちも教職員もウェルビーイングな学校づくり」と題して、記念講演を行いました。講演の概要を紹介します。(妹尾さんの講演資料は香教組ホームページから見ることができます。)

先生方は残業時間が見かけ上短くても家へ仕事を持ち帰っています。育児とか

今回の教育研究集会では妹尾昌俊さんが「子どもたちも教職員もウェルビーイングな学校づくり」と題して、記念講演を行いました。講演の概要を紹介します。(妹尾さんの講演資料は香教組ホームページから見ることができます。)



妹尾昌俊さん・教育研究家、一般社団法人ライフ&ワーク代表理事、大阪キリスト教学院教育テック総研副所長。全国各地の教育現場を訪れて講演、研修などを手がけている。中教審など政府の委員も務めている。

子どもが寝かせた後、授業準備をしています。私からすると頭が下がる思いもしますが、一方でちよつと健康は大丈夫かなと思います。寝不足が続くと、メンタルが崩れやすくなります。あるいはメンタルが崩れると寝れなくなるという悪循環になります。睡眠不足が続くとイライラしやすく、人に優しくなれなくなり、家庭だと子どもにも影響を与えます。学校でも威圧的な指導につながりかねません。睡眠は大事です。

今回の香川県教育研究集会では、例年行われている課題別分科会と並行して、教員を志望する大学生と現場教員が交流する場「先生Café」を初めて開催しました。大学生は、妹尾さんの記念講演にも参加しました。これまでの小・中・高・特別支援学校の教職員、大学の教授、一般からの参加者に加えて大学生が参加したことでより開かれた教育研究集会になりました。記念講演の感想を紹介します。○教育研究家としてだけでなく、親としての視点も交えて

見直しの視点でみんな考えて

第17回香川県教育研究集会の記念講演の講師妹尾さんは、自身が5人の子育て中という中で親としての視点、学校現場をよく見ている教育研究家としての視点、また中教審の委員もされているのでその視点などからユーモアたっぷりの講演でした。講演の中で、妹尾さんが出されたクイズがあります。①6分(小学校、8分(中学校)②41%の数値です。それぞれ何を表しているのでしょうか。当日の会場では①は回答が二つに分かれました。②はなかなか困っている状況でした。さて、皆さんはどうでしょうか。答えは、①は仕事をせずに休めている休憩時間です。会場からは給食を食べる時間という回答もありました。食べる間も休む間もない状況です。②は寝不足の人の比率、不眠症と疑われる人の比率です。十分に睡眠時間が取れない、結局、疲れも取れない状況です。こういう状況を要するには業務を見直すことが必要です。妹尾さんは、いくつかの学校の例を紹介しながら業務見直しの視点「やめる・へらす・かえる・充実させる」を考へるときの方向性を3点示しました①個人の好き嫌いや価値観で判断しない②そもそも何のためにやっている業務か③時間は有限という意識をもつです。▼通知表の所見の書く量を減らした。テスト計画の点検をやめた。生活ノートを一言日記にかえたなどが教職員の話し合いで決まるような職員室なら雑談や笑顔が増え、それが子どもたちに戻っていくウェルビーイングな学校につながるというのを感じた講演でした。

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/



# 支援学校支部が ひまわり学校開催!

9月28日、昨年度に引き続きデイキャンプをしました。支援学校の幼児児童3家族と大学生・教職員、総勢29名(お手伝い1名)の参加となりました。

## 大滝山県民いこいの森で 遊び、楽しんだ一日!

当日は曇り空で、暑くもなく寒くもなくとても過ごしやすく、昨年できなかった“あまごの掴み取り”や川遊びもできました。水鉄砲やシャボン玉、水風船、かにとりなど存分に遊び、みんなわいわいバーベキューをして楽しみました。兄弟



掴み取りしたあまごの塩焼き

見も大人も、誰もが笑顔になれるキャンプになりました。参加者の感想を紹介します。

教育実習で学校の中で見る子どもたちの姿とはまた違って、自然の中で楽しんでいる様子が印象的でした。保護者と話す機会もなかなかないので、貴重な経験でした。(学生)

家族だけでのアウトドアでは、お兄ちゃんが思い切り楽しめないことが多いので、同年代の子どもと一緒に遊んでいるところを見ることができてよかったです。得意なことを通して自身にもつながったと思います。お兄ちゃんにとってもよい経験になりました。(家族)

障害児本人だけでなく、きょうだい児や家族も参加できるのが素晴らしいと感じました。保護者が、「きょうだい児にはいろいろと我慢させているの」「家族だけではなかなかここまでできないの」「家族の想いの一端に触れることができたのは、とても良い経験でした。(教職員)

○ ついつい「子どものため」(子どもというのには、職場の児童生徒と我が子)を考えると、真面目に全部やりすぎてしまいがちな現役時代、子育てを行ってきたなあと自分の過去を振り返りました。やりすぎていたから、子どもや同僚にイライラしたり、体調を崩すことも多かったんだと講演を聞きながら大反省していました。講演内容にもあった倒れた人の言葉と同じく、私も大病を経験してやっとな気がついたことが多かったです。命に勝るものはないので、健康を失う前に現役時代の人にはぜひ、今回の妹尾さんの話の中のヒントを仕事に生かしてもらいたいと思います。

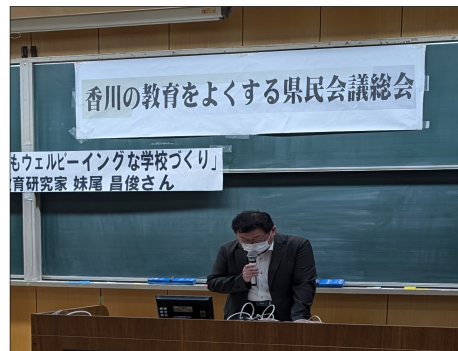
とができたのでよかったです。また、途中の話し合いの時間で現役の先生と話をすることができ、生の声を聞いたのでとても勉強になりました。

香川の教育をよくする  
県民会議総会

記念講演に先立ち、「香川の教育をよくする県民会議」総会が開かれました。

これまでにやってきたとして、2023年度の教育全国署名、県立高校生徒の一人一台端末の公費負担継続を求める要求署名、県内各町の教育長との懇談などのとり組みが報告されました。

また、今後、教育全国署名を大きく前進させること、高校のタブ



あいさつされる北原新会長

レット問題や大阪・関西万博招待事業について引き続きとりくむことが確認されました。

なお、よくする会の会長は太田展生(小児科医)が引退され、新しく北原孝夫さん(高松協同病院院長・香川民医連副会長)が就任されました。

# 青年部バーベキュー

香教組青年部 (Teachers)の秋の企画の一つにバーベキュー大会があります。

今回は9月15日に高松市橋が丘キャンプ場で行いました。家族を含めて30人を超える参加でした。参加者は、野菜を切る等の下準備をする人、網の上で焼く人、どっちかという食べ物を中心の人と自然に役割分担ができていました。

いろいろなどころでいろいろと話をしましたが、最後には参加者が集まって、学校現場の悩みやこれからの青年部のとりくみについて話し合いました。



BBQ大会のようす

## 総合共済

かんたん WEB申込はこちら! 毎月加入できます

全教共済 結婚・出産などの人生の節目にお祝い給付

退職時には掛金相当額が受け取れます!

月々 600円

全教共済のお問い合わせは  
香川県教職員共済会 まで  
761-8057 高松市田村町1033-3  
(香教組会館内) TEL 087-867-4797  
E-mail Kagawakyosai-ken@educas.jp

全教共済秋募集開始!  
総合共済はお得です。  
いろいろな共済があります。